

式次第及び司会進行要項

式次第	司会進行	要項
開式の辞	●只今より()家・()会社新築工事地鎮祭を執り行います。	祭員及び参列者が所定の座に着席するのを待って祭典を始める旨を告げる。
修祓(しゅうはつ)	(神職が神前で拝礼する頃) ●御起立願います。 (祝詞奏上中は頭を下げ敬意を表す) (大麻で参列者の祓いが終われば) ●ご着席願います。	神職が神前に於いて被詞(はらいのこたば)を奏上し、大麻(おおぬさ)ですべてを祓い清める。
降神(こうしん)	(神職が神前で拝礼する頃) ●御起立願います。 後神の際神職が警蹕(オーと一声または三声)を奉仕する間頭を下げる (終わって) ●ご着席願います。	神籬に神様をお招きする儀式。
献饌(けんぜん)	(一同着席のままでよい。)	神前にお供え物をする儀式。
祝詞奏上(のりとそうじょう)	(神職が神前で拝礼する頃) ●御起立願います。(祝詞奏上中は頭を下げる、終わって) ●ご着席願います。	神職が神前に工事の安全を願って祝詞を奏上する。
清祓散供の儀(きはらいさんぐのぎ)	(神職が神前に向う頃) ●只今よりこの敷地にすべての災が無きことを祈願して(清祓散供)を執り行います。	敷地の四隅と中央を祓い清め供え物をして土地の安全を願う。
刈初(かりそめ)の儀 穿初(うがちそめ)の儀 鎮物理納の儀	●刈初(かりそめ)の儀を行います。設計者()殿(前儀を終って) ●穿初(うがちそめ)の儀を行います。施工者()殿 ●鎮物理納の儀を行います。 (参列者は着席のまま)	この儀式は、施主及び施工者が初めてその土地に手をつける意味であり、一般には設計者が刈初、施主が穿初、施工者が鎮物理納の儀を行う。神職が理納の儀を行う。
(たまぐしほうてん) 玉串奉奠(玉串を奉りて拝礼)	(最初に神職が行い、終ってから) ●只今より玉串を奉りて拝礼を行います。 ①施主()殿 ②設計管理者代表()殿 ③施工者代表()殿 ④一般参列者()殿 (代表者に合わせて関係者は、その場から御拝礼願います。)	玉串は工事の無事安全を祈って、その心を神に捧げるものです。(事前に奉奠者の名簿を作成のこと)
撤饌(てっせん)	(着席のまま)	お供え物を下げる儀式。
昇神(しょうしん)	(降神に準ずる)	神籬にお招きした神様にお帰りの儀を執る儀式。
御神酒拝戴(たいげ) 神職退下	●以上をもちまして()工事の地鎮祭をめでたく終了致しました。 おめでとございます。	直会

●春のお供え物	
春の野菜	筍・春キャベツ・えんどう豆・そら豆・アスパラガス
春の果物	イチゴ・はっさく・キウイフルーツ
●夏のお供え物	
夏の野菜	かぼちゃ・トマト・なす・きゅうり・とうもろこし・ピーマン
夏の果物	さくらんぼ・メロン・すいか・桃
●秋のお供え物	
秋の野菜	サツマイモ・ジャガイモ・ごぼう・れんこん・人参
秋の果物	ぶどう・いちじく・りんご
●冬のお供え物	
冬の野菜	白菜・ほうれん草・かぶ・大根
冬の果物	みかん・柿・キウイフルーツ

中袋の表に書く金額の書き方

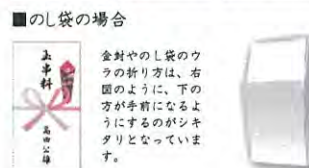
金壹萬圓也 (1万円)
金貳萬圓也 (2万円)
金參萬圓也 (3万円)
金伍萬圓也 (5万円)
金壹拾萬圓也 (10万円)

供物 5,000円

特に決まりはないのでその時、その季節に用意できるもので

塩・水	果物	野菜	海菜	お魚	お酒	お米
水塩は小皿に盛り付一杯程度で準備してください。	か三りら品ご彩り良意かんく選ぶの。どが神う良様に召しよがう。つな等頂季節の物を	品大根、なす、ほうれん草、人参、胡瓜等季節の物を三	のこんぶ、寒天、のり、わかめ、ひじき、するめ等の海	ば付特に種類は問いませんが、出れば赤いお魚で生の尾頭	会お酒は一升ほど準備してください。お祭りの後に、直	のたりお米は白米を約三合ほど準備してください。特に洗つ

玉串料(初穂料) 20,000円



式次第の書き方

新築工事地鎮祭 式次第

一、閉式の儀
一、昇神
一、撤饌
一、玉串奉奠
一、地鎮の儀
一、祝詞奏上
一、献饌
一、降神
一、修祓
一、開式の辞

④ 鎮物理納の儀
③ 穿初の儀
② 刈初の儀
① 四方威・散供の儀

※祭事の規模により掲示する場合があります。